

Happy New Year

今年もよろしくお祈りします。

眠りから覚める時刻が来ました！

主の年 2025。新年、明けましておめでとうございます！

いよいよ「2025年2月11日(火)から14日(金)」まで、日本、モンゴル、韓国の三カ国が共に集い、リバイバルを求める聖会がミッションの原点でもある「愛知県民の森」にて開催されます。すでに、モンゴルと韓国から、100名近くの方々が大いに期待して参加されることになっています。愛知県民の森の宿泊定員は150名です。日本人勇士50名を募集します。ぜひ、お早めにリバイバル・ミッション事務局にお申し込み下さい！

さて、この聖会が計画されたのは昨年のことですが、現在、この三カ国を取り巻く環境は未だかつてないほど、厳しいものになっています。特に、韓国の国内事情は、ニュースがお手元に届く頃、どのように変化しているのでしょうか。このような中、教会とクリスチャンには、考える以上に、重要なポジションが神より担わされているのではないのでしょうか。『さらにあなたがたは、今がどのような時であるか知っています。あなたがたが眠りから覚めるべき時刻が、もう来ているのです。ローマ人への手紙 13章11節』

私は昨年、ソウルとチュンチョンにおいて、三回に渡り、「霊的戦いセミナー」を開催させていただきました。そのテーマは、韓国の抱える最大の課題「南・北統一問題」へと、主によって導かれました。

昨年の12月3日(火)、夜10時15分頃、ソウルでのセミナーを終えました。しかしその直後、ユン大統領が全国民に向けて「戒厳令」を発布し、社会の雰囲気は一変しました。

大統領がなぜ、戒厳令を発令したのかについては、様々な説が飛び交っていますが、その深部は、北朝鮮との関わりにあります。

私は昨年、三回の訪韓において、セミナーとは別に、「脱北者教会」で奉仕する機会が与えられました。現在、韓国社会には三万数千人に及ぶ脱北者が生活しており、その一人一人に、命がけのドラマがあります。

日本にはあまり知らされていませんが、北朝鮮は巧みに、韓国社会に影響を与えているという事実です。その最も強い影響は、軍事面と言うよりも、韓国の政界に対する工作にあります。この事実は、もしかしたら、韓国人でさえ盲目にされているのかも知れません。

現在、北朝鮮は以前とは全く違う国家となりました。昨年、北朝鮮はロシアとの「包括的戦略パートナーシップ条約」に署名しました。

これにより両国が第三国から攻撃を受けた場合、相互に支援を行う環境が整いました。また以前から北朝鮮は、中国ともパートナーシップ条約を締結しています。

北朝鮮はもはや、孤立した貧しい国ではなく、ロシアそのものであり、中国そのものなのです。ある意味、北朝鮮は世界の強国の一つとして理解されなければいけないのです。

韓国大統領の弾劾が成立し、現在の韓国野党の党首が大統領に選出されたら、韓日関係、対米関係はかなり悪化すると懸念されています。

朝鮮半島の隣国、それは日本です。平和ボケに洗脳された日本人はどのくらい、その危機を感じ取っているのでしょうか。目を覚まさないといけない時期が来ているのです。

世界の隠された陰謀について、いち早く気づいたユースタス・マリンスは、その著作において次のように語っています。『人類が直面している危機に関して、この四十年のあいだ根気よく調査研究を続けた結果、私は、「すべての陰謀はサタンの仕業である」という、きわめて簡潔な結論に達した。…何年ものあいだ、この回答を引き出せなかったのは、私が道筋を誤っていたからではなく、究極の知識源、聖書を参考にしていなかったからだ。…人類の歴史は神の民とサタンの礼讃者との戦いの歴史でもあるということだ。歴史的出来事は、この二つの対立勢力の実際の記録を明かすものだから。』

霊的戦いは神学的議論の対象ではなく、現在、世界を揺るがしているテーマそのものなのです。この戦いに対応できる戦力はどの国も持ち合わせていません。ただ一つ、神の国の軍隊だけが、その能力を有しています。

今回、韓国・モンゴル・日本の神の国の軍隊が合同するとき、主の偉大な勝利につながると信じます。

主はあなたを呼ばれています。ぜひ、二月に行われる聖会に参加し、共に祈りましょう！

いつもリバイバルミッションを支えて下さっているお一人一人に、心からの感謝を申し上げ、祝福をお祈り致します。



滝元順

リバイバルミッション協力伝道者

2024 Go to Mission

イエスキリストを知らない方々に 福音を届けに行きます!

Go to ミッション 2024 年全 154 回の集会を開催することができました。お祈り感謝します。

関西地区

関西地区は 11 月 13 日～17 日に滋賀県、奈良県、和歌山県、大阪府にて開催されました。音楽ゲストには Duo B→Z のお二人がヴァイオリンとピアノのでステキな演奏をしてくださり、メッセージは平岡修治師が、奉仕してくださり、新しい方はどの集会にも集ってくださった集会になりました。

平岡修治先生と Duo B→Z をお送り下さりありがとうございました。柏原ではコロナのこともあり、5 年ぶりの伝道集会でした。どうなることかと思いましたが、平岡先生のユーモアとウイットに富んだお話に、高齢者も若者も心開かれ、聴衆の笑い声が聞こえ主の臨在の中に喜びにあふれた集会となりました。Duo B→Z も今回初めて演奏をお聴きしましたが、パワフルなバイオリンの生演奏そして鮮やかなピアノ演奏に音楽を通して神様の素晴らしさを感じさせられました。集会が終わっても、「また聞きたい!」「来年も招いて欲しい!」との求道者や教会員の多くの声を聞きました。案内のチラシ配布をした兄弟たちも「今回は、

リバイバルを予感させられる集会でした。ハレルヤ!

柏原教会 牧師 西本耕一



九州地区

九州地区は 11 月 20 日～24 日で熊本県、大分県、福岡県で開催されました。音楽ゲストには九州の地元でも大活躍の安武玄晃さんが、そしてメッセージは田中進師が、大胆にメッセージを語っていただきました。

私たちの教会は、今回初めてリバイバルミッションのツアーを受け入れることが出来ました。実はコロナ禍直前にツアーをお願いしていたのですが、直前にキャンセルしてしまったのです。そんな私たちでしたが、再びツアーを受け入れることができたことは本当に主の恵みでした。ツアーには田中進先生と安武玄晃さんが来て下さいました。私たちの教会は地方都市にあり、まだコロナ禍の影響を引きずるような環境で、大勢の人にチラシを配ることが難しい状況でしたが、信徒の方々がそれぞれに知り合いをお誘い下さり、20 名ほどの新来者や未信者が来て下さいました。皆が安武さんのサックスの音色に耳を傾け、その救いの証に胸を打たれ、田中進先生のメッセージに心を刺

されていました。私たちはこの方々が単発で終わらないように継続的に声をかけ、福音の種を蒔いていきたいと思えます。今回のツアーとして当教会を用いて下さったことを感謝します。

シャロンキリスト教会 牧師 上田努



2025 Go to Mission

2025年も、あなたの町、あなたの教会に伺います！ 是非あなたの町で、教会で開催ください。

少子高齢化の波が押し寄せ教会員や教会数が激減するというキリスト教界の2030年問題は、新型コロナ感染の影響もあり、2030年を待たずして、すでに危機的な状況です。特に地方ではその傾向は顕著で、教会の存続がままならない状態といっても過言ではありません。2024年、リバイバルミッションでは、全国で150回以上の集会を開催させて頂きました。平日には人は集まらない、チラシでは人は来ない、一見当たり前のようなことを主は打破してくださり、集会に不思議なように未信者の方が集い、救いの時となりました。今再び、色づいている畑に目を向けようではありませんか。2025年もリバイバルミッションは日本の教会に仕え、福音宣教を邁進させていただきます。是非あなたの町で、あなたの教会で伝道集会を開催ください。

●Go toミッション2025スケジュール

①中国地区／2月19日(水)～2月24日(月・祝)

メッセージ: 田中進 ●ゲスト: 安武玄晃

②北陸地区／3月5日(水)～3月9日(日)

メッセージ: 滝元順 ●ゲスト: チェ・ヨンドウ

③甲信越地区／3月26日(水)～3月30日(日)

メッセージ: 平岡修治 ●ゲスト: Duo B→Z

④九州地区／4月4日(金)～4月13日(日)

メッセージ: 平岡修治 ●ゲスト: 関真哉

⑤中部地区／5月21日(水)～5月25日(日)

メッセージ: 滝元順 ●ゲスト: 安武玄晃

⑥関西地区／6月8日(日)～6月15日(日)

メッセージ: 平岡修治 ●ゲスト: チェ・ヨンドウ

⑦東北地区／6月25日(水)～7月2日(水)

メッセージ: 田中進 ●ゲスト: 石塚誠孝

⑧北海道地区／7月4日(金)～7月13日(日)

メッセージ: 平岡修治 ●ゲスト: Asiah

⑨関東地区／7月23日(水)～7月27日(日)

メッセージ: 滝元順 ●ゲスト: Asiah

⑩関西地区／9月12日(金)～9月21日(日)

メッセージ: 田中進 ●ゲスト: 関真哉

⑪関東地区／10月1日(水)～10月5日(日)

メッセージ: 小山健 ●ゲスト: 安武玄晃

⑫沖縄地区／10月17日(金)～10月26日(日)

メッセージ: 平岡修治 ●ゲスト: 関真哉

⑬四国地区／11月5日(水)～11月9日(日)

メッセージ: 田中進 ●ゲスト: 中村匡

⑭中部地区／11月19日(水)～11月23日(日)

メッセージ: 平岡修治 ●ゲスト: Duo B→Z

- ・日程は変更になる場合もあります。
- ・日程が空いていても移動などの関係で希望日時に伺えない場合もあります。
- ・上記の日程以外でも開催が可能なスケジュールもあります。

派遣
メッセンジャー



関東地区

Go to ミッション2024年最終の関東地区は11月29日～12月1日の3日間3教会で開催されました。今回は音楽ゲストに Duo B→Zのお二人に石塚誠孝さんが加わり、メッセージには平岡修治先生が、奉仕してくださいました。ツアー最終日はアドベント初日も重なり一足早いクリスマス集会ともなりました。

獨協医科大学のいちょう並木が黄金に輝き美しい12月の初め、私たちの教会「ニューライフチャーチおもちゃのまち」に Go to ミッションが今年最後の全国ツアーとして来て下さいました。

11月30日(土)夜、12月1日(日)礼拝及び午後の3回の集会でした。特に3回目は、コロナ禍でしばらく開催出来ず、昨年から再び始められた第18回クリスマスコンサートでした。

平岡修治先生のメッセージは力強く、笑いと共に一人ひとりの心に迫る神様の言葉が届けられました。石塚誠孝さんの美しい歌声、石塚和基さんのバイオリンと冷水乃栄流さんのピアノ演奏は集会を重ねるごとに会場がわきあがり、クラシック好きの私にはとても豊かな時間でした。

メッセージも演奏もともに素晴らしく祝福と喜びが会堂いっぱい溢れました。

これからも Go to ミッションの働きが神様に用いられ、日本中に神の家族が増し加えられることを期待してお祈り致します。心から皆さまの主にある熱いご奉仕に感謝申し上げます。

ニューライフチャーチおもちゃのまち
スタッフ 大橋純子



Pray for . . .

2025年、戦後80年という節目を迎えます。戦後70年の節目にとりなし祈ったことを踏まえ、さらに何をどのように祈る必要があるのか、SIRの瀧元望氏に伺いました。

主の再建の年、80年からその後

「まことに、主はこう言われる。『バビロンに七十年が満ちるころ、わたしはあなたがたを顧み、あなたがたにいつくしみの約束を果たして、あなたがたをこの場所に帰らせる。わたし自身、あなたがたのために立てている計画をよく知っている——主のことば——。それはわざわざいではなく平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ。(エレミヤ書 29 章 10～11 節)」

2011年12月8日（ハワイ時間7日）から、私たちは、太平洋戦争の70年後というタイミングで、アジア太平洋地域の戦地となった国々や島々に向かいました。それぞれ意味を持ったその日に、意味を持つ場所に向かい、また、現地の方々、クリスチャン、教会と共に主の前にとりなし祈りました。

12月7日午前7時50分、ハワイ・パールハーバーで行われた式典では、戦闘機が空を飛び、戦艦が目の前を通り過ぎる中、約2000名の人々が黙祷を捧げていました。パールハーバー・サバイバーという軍帽をかぶった老人の一人がいましたが、ほとんどが車椅子での参加で



2011年の12月25日、香港、翌12年2月15日は、シンガポール、3月8日はインドネシア・カリジャティ空軍基地、5月7日は、フィリピン・コレヒドール島に向かいました。それぞれの場所で、日本軍に占領された日として覚えられ、記念式典も開かれていました。

太平洋戦争の緒戦で勝利した日本軍は、パプアニューギニアをはじめとする南の島々にまで進攻し、オースト

ラリアを陥落占領するための、FS 作戦（フィジー、サモアの頭文字）では、ソロモン諸島のガダルカナル島を占領しました。2012年9月、パプアニューギニアのココダという集落を訪れました。ココダトレールと呼ばれる登山道がオーエンスタンレー山脈に続き、かつて日本軍はその道を歩いてポートモレスビーを目指しました。しかし、その途中、大本営からの撤退命令が下り、食糧が尽きた兵士は餓死し、オーストラリア兵との戦いに敗走しました。村の広場には高知県などからの慰霊団が慰霊碑を建立しており、多くの戦没者の親族友人が訪れ続けていました。ガダルカナル島では、2万人を超える戦死者が出て、そのほとんどが餓死した為、「餓島」と呼ばれ、ブーゲンビル島では約8万名の戦死者が出たため「墓島」と呼ばれたと言います。



通常、慰霊団は、旅行エージェントが現地集落に連絡を入れて訪問しますが、私たちは、村にアポイントを取ることなく、現地の牧師やクリスチャンと激戦地となった村々を訪ねる事が多く、「何のために。この村に来たんだ」と険しい顔をされた村人に囲まれることもありました。「日本人のクリスチャンで、聖書にある約束の70年後に、将来と希望のために来た」と伝え、土地に入ることを許し、その後には、「私の家族は日本人に殺された。しかし、今日、俺は、お前達日本人を赦す」と語り、共に祈りに参加して下さる人々がありました。私が、数えただけで、13度、「今日、あなたを赦す」という言葉で名指されました。

私たちが（リバイバルミッション開催を含む）70年後までに、訪れた所は、ハワイ・パールハーバー、香港、シンガポール（2度）、フィリピン・コレヒドール島、

マバラカット（特攻隊基地）、カリラヤ、レイテ島、インドネシア・カリジャティ、スマラン、ビアク島（玉砕の島）、パプアニューギニア・ココダ、ブナ、サナンダ、ゴナ、ニューイングランド島ラバウル、ブーゲンビル島ブイン、キエタ、ソロモン諸島ガダルカナル、ツラギ島、パラオ・ペリリュー島、アンガウル島、グアム、サイパン、マーシャル諸島ケゼリン島、マジロ島、アリューシャン列島ウナラスカ島ダッチハーバー、マレーシア・サバ州サンダカン、ラナウ、ボーフォート、ラブアン島、ミャンマー・マンダレー、ヤンゴン、インド・インパール、台湾・高雄、台中、台北、韓国（ほとんどの町）、ロシア・サハリン、ハバロフスク、中国東北部（哈爾濱、瀋陽、大連、旅順）、沖縄の有人の島々すべて、全国の空襲を受けた約130の市町村、広島、長崎、戦艦ミズーリ（オアフ島）などです。主の恵みによる歩みでした。

太平洋戦争で亡くなった人々は、310万人で、その内戦没者（軍人軍属の戦死者）は、約230万人です。その人々は、靖国神社に神々として祀られ、その家族は国家から遺族年金を受け取っています。靖国神社に参拝を続ける国会議員が多くいますが、それだけ大きな経済的な意味を持つ出来事だと分かります。しかし、空襲などで亡くなった民間人は60万人を越えますが、保証のための年金は全く支払われていません。アジア太平洋地域で、太平洋戦争によって犠牲になった人々は、少なく見積もっても一千万人は下らないと言います。

戦争末期、3月10日の東京大空襲（約10万人が犠牲となる）をはじめりとして、日本の130の市町村が空襲を受けました。そのほとんどの町を訪れましたが、そのほとんどの空襲の犠牲者の慰霊碑や追悼碑が建てられています。青森県下北半島に恐山という霊場がありますが、その境内にも戦没者慰霊碑が建っています。その理由は、遺族が戦死した人の声をイタコから聞くために訪れてきたことにあります。大分県津久見市に保戸島という小さな島があります。人口約千名弱の島ですが、1945年7月25日、保戸島国民学校が米軍戦闘機の誤認による空襲を受け、124人の児童と2名の教師が死亡し、75名



全国戦災都市慰霊碑

が重軽傷を負いました。70年後の7月25日、そこでは空襲を受けた午前10時に合わせて慰霊祭が開かれました。

そして、80年後

「どうか、あなたの耳を傾け、あなたの目を開いて、このしもべの祈りを聞いてください。私は今、あなたのしもべイスラエルの子らのために、昼も夜も御前に祈り、私たちがあなたに対して犯した、イスラエルの子らの罪を告白しています。まことに、私も私の父の家も罪を犯しました。（ネヘミヤ記1章6節）」バビロン捕囚からの帰還から約80年後、エルサエムの再建と回復のため働いたネヘミヤが、主の前にとりなした祈りです。歴史的な出来事に関して、私たちはいつまで関わり、祈り続ける必要があるのでしょうか？その答えがネヘミヤの祈りと働きにあるのではと思わされます。

霊的負債として

70年後にアジア太平洋地域に出かける中で、行く先々で、「君たちが祈る為に来た初めての日本人クリスチャンだ」という言葉を聞きました。多くの日本人慰霊団が先祖の霊とされる悪しき霊をその地に招くために訪れ続けている戦地は、さらなる悲惨な出来事に襲われていました。地震、火山噴火、台風被害によって村や町ごとなくなってしまう場所もあります。そこに「地がうめく」という現実がある事を実感しましたが、私たち日本人クリスチャンが祈り、とりなさなければ、戦地に流された血の責任は消されることはありません。慰霊団が良かれと思い、私財を投じ、多くの経済援助をした村々が、部族闘争のあおりを受け、焼き払われる。そこには新たな経済格差が生まれ、嫉妬的になっている現実が見え隠れします。

「私は、ギリシヤ人にも未開人にも、知識のある人にも知識のない人にも、返さなければならない負債を負っています。（ローマ人への手紙1章14節）」

私たち日本の教会が福音宣教を通して返さなくてはいけない、「負債」がアジア太平洋地域の国々、島々にあります。その負債を返すことこそ、80年後に生かされている、私たちの責務なのではないでしょうか？

「私たちの先祖は罪を犯し、今はもういません。彼らの咎は私たちが負いました。（哀歌5章7節）」

瀧元望

SIR ネットワーク代表

今回は2月に蒙韓日合同リバイバル聖会でもメッセージをしてくださる韓国の春川（チュンチョン）のイ・ビョンチョル先生にお話しを伺いました。



韓国・春川主香牧師
イ・ビョンチョル

モンゴルでの合同集会はいかがでしたか？

韓国、日本、モンゴル連合集会は驚くべき集会でした。2011年に韓国リバイバルミッションがありました。13年後に韓国と日本そしてモンゴルが連合してリバイバルミッションが行なわれたのは、神様の驚くべき摂理だと思います。3日間の集会の中で、韓国の夜、日本の夜、モンゴルの夜というテーマを決め、それぞれの国で準備して発表する時間を通して、お互いの国についてより一層理解することができ、共に熱く祈りました。国と国の壁を越えてイエス・キリストの中で一つとされる時となり、聖霊様の驚くべき働きがあり、癒しと回復が起こる時間でもありました。

モンゴルと韓国との繋がりはどのようにしてできたのですか？

順先生と交わりしているときにモンゴルについて話したことがありましたが、いつかモンゴルに行って祈らなければならない！という思いがありました。それから2022年にエルサレムジュビリー祈禱会発足のためにイスラエルへ行き、その最中に、「エルサレムに南北統一のためのジュビリー祈禱会ができたので、次はどこですれば良いだろうか」とツアーメンバー数人たちと祈りながら分かち合いました。以前、順先生と分かち合ったモンゴルのことが思い出されて提案したら、皆が賛同してくれて、2023年5月にモンゴル・ジュビリー統一救国祈禱会が発足することになり、私が行って祝うことになりました。モンゴル教会はすでに北朝鮮宣教のために多くのことをしており、教会のビジョンも北朝鮮宣教に向かっていきます。国と国の壁を越えて、韓国と日本が一つになって祈った時に、驚くべき主の御業が起こったように、モンゴル

とも連合して3つの国が共に祈れば、もっと素晴らしい神様の働きが広がると思いました。モンゴルでの韓日蒙連合リバイバルミッションは本当に大きな祝福の時間となりました。集会の後、一度だけで終わるのではなく、モンゴルで行なったなら、次は日本、その後は韓国でしようという意見が集まりました。

現在の南北関係について、日本の皆さんに知って祈って欲しいことはありますか？

韓国と北朝鮮は韓民族でありながらも80年という長年にわたり、分断されて分かれて暮らしています。北朝鮮は凄まじいキリスト教リバイバルが起こった場所です。ところが共産主義が入り、三大偶像独裁体制の中で信仰の自由を奪われ、人権が蹂躪され、飢えと抑圧の中でうめいています。世界のキリスト教迫害国順位では10年間、1位となっています。苦難の行軍と呼ばれた1990年代には200万人もの人々が飢えにより死亡しています。その時から脱北して韓国に入国した人が3万5千人にもなります。政権を掌握した少数の人によって、抑圧されうめいている闇の国に、世の光であり、いのちの光であるイエス・キリストを伝え、自由と解放を迎えることができるようにならなければなりません。北朝鮮の地でも存分に神様を賛美し、礼拝する日が速やかに来なければなりません。このことは韓国の力だけではできません。必ず周辺の国々の助けがなければなりません。特に日本の助けは絶対です。韓国と北朝鮮が統一され、国々を祝福して仕える国となるように祈ってくださり、統一を積極的に支援してください。

2月の連合集会に期待することは何ですか？

私たちは日本のリバイバルのために祈りに行きます。日本のリバイバルが韓国とモンゴルのリバイバルに繋がります。サタンが塞いだ隔ての壁を越えて、イエス・キリストの中で聖霊によって一つになれば、驚くべきリバイバルの御業が東アジアで起こります。特に今回は次世代がたくさん参加します。壮年の世代だけではなく、次の若い世代と一緒にこのビジョンを受け継いで継続していくならば、東アジアで偉大なリバイバルの御業が起き、エルサレムまで福音を持っていくことになるでしょう。日本の聖徒たちに会い、モンゴルの聖徒たちと共に神様を賛美し、互いに愛を分かち合えることを思う時、とても興奮します。私たちは神の国の一つの家族です。心から愛し祝福します。

モンゴル、韓国、日本と共にリバイバルを求めましょう！

蒙韓日合同リバイバル聖会

日程●2025年2月11日(火・祝)～14日(金)

会場●愛知県民の森モリトピア愛知 新城市門谷字鳳来寺 7-60

講師●イ・ビョンチョル(韓国) ジョシュア・ムンフ(モンゴル) 平岡修治、滝元順、瀧元望 他

◎プログラム

	2月11日(火・祝)	2月12日(水)	2月13日(木)	2月14日(金)
	8:00am	軽朝食	軽朝食	軽朝食
	9:30am			チェックアウト
	10:00am	リバイバル聖会①	リバイバル聖会②	
	12:00pm 12:30pm			
2:00pm		昼食	昼食	
	受付			
3:00pm	Welcome 聖会 メッセージ / 滝元順	プレイズ& フェロシップ	霊的戦いセミナー セッション①滝元望 セッション②滝元順	
5:00pm				
5:30pm				
	夕食	夕食	夕食	
7:00pm	コリアンナイト メッセージ / イ・ビョンチョル	モンゴルナイト メッセージ / ムンフ・ジョシュア	ジャパナイト コンサートタイム / 安武玄晃 メッセージ / 平岡修治	
9:00pm			県民の森祈禱会 (10:00pm～12:00am)	

限定 50 名の先着順です。

参加費用○19,150 円(全参加)

<内訳>

参加登録費○

全日参加 2,000 円

1 日のみ 1,000 円

食事○8,900 円

(夕食 3 回、朝 3 回、昼 2 回)

宿泊○8,250 円

(3 泊男女別の大広間になります)

※2月14日(金)朝食後、解散となります。

※部分参加の費用の内訳はお問い合わせください。

※宿泊はお近くの旅館、ホテルを各自手配頂いても結構です。その際の集会場からの送迎はありませんのでご注意ください。

※プログラム・スケジュール・講師は変更することがあります。



イ・ビョンチョル



ムンフ・ジョシュア



平岡修治



滝元順



滝元望

◎お申し込み方法

お名前、性別、ご住所、ご連絡先、所属教会を明記し、お送りください。



office@j-revival.com

↑QRコードからもお申し込み出来ます。



安武玄晃くサクソックス

ホームページ、お電話、FAX からでも、お申し込み可能です。

お問い合わせ・お申し込みは事務局まで

リバイバルミッション

TEL.0120-291-372、0536-23-6712

Fax.0536-23-6220

http://www.j-revival.com



霊的戦い、専門課程 第13期

第13期Vol.4

ハイブリッド開催

1月27日[月] - 28日[火]

講師 / 滝元順、鈴木陽介、ほか

受講料 / 8,800円 [1回10セッション]

●年間受講料 / 79,200: 10回100セッション

※配信は13期終了2025年9月末まで視聴可能

ハイブリッド開催時は愛知県新城市のリバイバル

ミッションセンターで 対面で受講できます。
宿泊・食事代(1泊2食・朝軽食付)5,500円 / 1回
※会場での受講者も配信を視聴することができます。
※vol.4は2月10日配信開始予定です。



wakamono
worship
wave
RPH



1/11 土

10:00-18:00

会場: 新城教会教育館ホール
愛知県新城市富沢407-1
※配信はありませんのでご注意ください。



Pray
for
Revival

2025年も共にリバイバルの
ために熱く祈りましょう!

1/9 木 10:00~

メッセージ / 上條実

祈りの課題(個人、教会)がある方は、

以下のメールアドレスまで祈りの課題をお寄せ下さい。集会の祈りの中で、
皆で共有して祈ります。匿名、イニシャルの投稿でも結構です。
revivalmission.pray@gmail.com

YouTube
配信



Zoom de フェロシップ

2025年も Zoom を通して日本中の皆様と、つながり続けたいと願います。
どうぞよろしくお願い致します。

ワカモノトークルーム

みんなと励まし合い語り合い時々遊
びながら更に主に近づき燃やされて
いきたいと思っています!

1月6日[月]20:00~

●MC / 杉浦美紀、瀧元栄主、田中咲
●アドバイザー / 平岡新人

韓国語

2025年も思い切り韓国語でたくさん賛美
をしましょう!新しい方も大歓迎です!

1月7日[火]20:00~

●講師 / チェ・ヨンドウ

神学校OB

各地へ遣わされたリバ神OBの皆さん、
zoomでフェロシップで再会して祈り、励
まし合いましょう。初参加の方も大歓迎

1月28日[火]20:00~

●司会進行 / 田中進、平岡新人

ブッククラブ

一人の読書では気づかない恵みや喜
びがあります。もちろん途中からの
参加も大歓迎です!

1月23日[木]20:00~

●司会進行 / 平岡新人

Zoom de 祈禱会

1月20日[月]20:00~

2025年も全国の皆さんと祈りの火を結集してリバイバルを求め熱く祈ります。
皆さんのご参加をお待ちしています!

主を賛美いたします。リバイバルミッションのために、いつも祈り、献金をもつ
てご支援くださっていることを心から感謝いたします。Go to ミッション2024
年も、開催教会をはじめ皆さまのお祈りとサポートで無事祝福のうちに154回
を終えることができました。経済的には当然席上献金だけでは賄うことは困難で、
開催数が多ければ多いほどマイナスになることは承知の上ですが、確実にたまし
いが勝ち取られ、また信仰が弱っていたクリスチャンがまさにリバイバルされて
いる姿を拝させて頂いています。来年も開催させて頂く予定になっております。
主が備えてくださることを信じて前進してまいりますので、是非覚えてお祈りく
ださい。そして献金をもってお支えくださいますようお願いいたします。来る
2025年が皆さまの上に特別な守りと祝福に満ちた年になりますように。

●献金送付先.....
三菱UFJ銀行 / 名古屋営業部 普通 2569313
ゆうちょ銀行 / 振替口座 00860-0-33814
クレジットカードによる献金 <http://j-revival.com/rm/card/>



←QRコードから
スマホからでも
可能です。



●会計報告2024年10月

収入		支出	
一般献金	2,135,723	事務運営管理費	1,102,569
集会献金・参加費	0	一般旅費交通費	33,800
国内宣教指定・集会献金	893,000	通信費	159,246
世界宣教指定・集会献金	16,700	印刷費	150,436
霊的戦いセミナー・献金・参加費	491,400	国内宣教諸経費	1,469,183
		霊的戦いセミナー諸経費	83,546
		集会諸経費	10,368
		世界宣教諸経費	0
		銀行借入返済	349,956
収入合計	3,536,823	支出合計	3,369,184
		1ヶ月間差額(10月)	167,639

クレジットカードでも献金出来ます。



フリーダイヤル ☎0120-291-372
〒441-1307 愛知県新城市富沢407-1
TEL.0536-23-6712 FAX.0536-23-6220
✉office@j-revival.com
ホームページ <http://www.j-revival.com>
※次回ニュースPlus2月号 (vol.7) は
1月26日(日) 発行予定です。



リバイバルミッション情報
祈りのLINE登録してお祈りください!



リバイバルミッションのホットな情報と祈りのリクエスト、集会の様子などを配信します!
◎友達登録方法...「友達追加」からQRコードリーダーにてQRコードを読み込んで登録



それぞれフォロー、登録して下さい。
Facebook, Instagram, X, YouTubeのアカウントがあります。